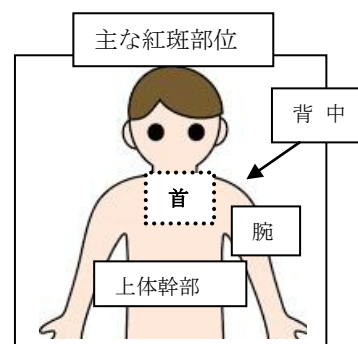


## バンコマイシン (VCM) 点滴静注は **2時間**かけて投与しましょう ～『レッドマン症候群』を回避するために～

MRSA感染症治療薬バンコマイシン (以下VCM) の投与で発疹のような症状がみられた場合、**レッドマン症候群 (Red man syndrome)** の可能性もあります。これはアレルギー反応とは異なる急速なVCM投与による一過性の症状で、投与時間を適切にとることで多くは回避できるとされています。レッドマン症候群の特徴や発現症例を載せましたので参考にしてください。

### レッドマン症候群 (Red man syndrome) とは

急速なVCMの点滴投与によりヒスタミン遊離作用が起きて出現する反応。顔、首、上体幹部、背中、腕など主に上半身に紅斑がみられる他、フラッシングや頻脈、血圧低下、血管性浮腫などの症状を伴うこともある。レッドネック症候群とも呼ばれる。



### 発現症例

VCM1.5g/100mlを40分で滴下する速度で投与していた。投与開始30分で臀部から背部にかけて発疹・発赤あり、掻痒感はなし。投与を中断し、速度を緩徐に2時間かけて滴下するよう速度へ下げ再開。その後は症状の拡大無く経過。次の投与から2時間かけるよう指示を変更した。



### 発現回避に推奨される投与時間

添付文書や抗菌薬TDMガイドラインには、  
「1gを1時間以上かけて投与。1gを超えるときは500mgあたり30分以上を目安に投与時間を延長する。」とされていますが、当院では1回あたり2時間かけて投与することを推奨しています。

### <ポイント>

- ・ 毎回適切な投与時間をかければほぼ回避できる  
→ **投与量に限らず2時間かけた投与を推奨**
- ・ 薬剤アレルギーではないため、一旦中断したのち、症状の拡大が無いかに注意しながら投与速度に下げて再開することが可能

### — 今月号の目次 —

- ① <今月のトピック1> バンコマイシン (VCM) 点滴静注は **2時間**かけて投与しましょう・・・P1
- ② <今月のトピック2> 取り間違えにご注意を! (0.5単位刻みのインスリンが発売されました)・・・P2
- ③ <今月のトピック3> 妊娠時・授乳期の抗菌薬選択・・・P2
- ④ <今月のトピック4> ワーファリン拮抗薬「ケイセントラ静注用」について・・・P3
- ⑤ <DI情報> 副作用報告、プレアボイド情報、採用薬変更のお知らせ・・・P4

## 取り間違えにご注意を！(0.5 単位刻みのインスリンが発売されました)

2018年7月に、日本イーライリリーより0.5単位刻みで投与可能な超速効型インスリン「ヒューマログ注ミリオペンHD」が新しく発売となりました。

ノボノルディスクファーマからも、同じく0.5単位刻みのカートリッジ用注入器「ノボペンエコー」が発売されています。

小児や高齢者などで特に細やかなインスリン投与量の調節が重要な患者に、細やかな単位設定が可能となる製剤です。

当院での使用者は少数ですが、今後対象者がいれば使用されていく予定となっています。また、これらの製剤を使用している患者様が入院してくることも考えられます。1単位刻みの製剤との取り違えや単位設定ミスに注意しましょう。

『注射の取り間違えや単位間違いを予防するために、ラベル・ボタンの色を確認してください』  
『指示された単位量まで単位設定ダイヤルが回っていることを確認してください』

★1単位刻みのヒューマログ注ミリオペンとはラベルの表記とボタンの色が異なります。

インスリン	ボタンの色
ヒューマログ注ミリオペン	→ <u>あずき色</u>
ヒューマログ注ミリオペン HD	→ <u>青色</u>

★「ノボペンエコー」はカートリッジ用注入器のため、各種ペンフィル製剤（レベミル、トレシーバ、ノボラピッド、ノボラピッド30ミックス）を挿入して使用します。



## 妊娠時・授乳期の抗菌薬選択 (付表参照)

妊婦・授乳婦へ薬剤を投与する際には胎児や乳児への曝露を考えて慎重に投与する必要があります。しかし添付文書では「有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること」や「投与は避けることが望ましい」などと記載され、臨床の現場では判断に悩むことが多々あると思います。

そこで当院婦人科医師と相談し、抗菌薬投与可否に関する当院基準を作成しました。

※この基準は当院婦人科での投与可否基準であり、文献上安全とされているものでも様々な理由により「投与不可」と判断しているものもあります。



妊娠時・授乳時の抗菌薬選択\*

2019.1.17作成

商品名	一般名	授乳婦	MMM	母く	妊授	妊婦	AUS	妊薬	妊授
アシクロビル錠／顆粒／点滴静注	アシクロビル	可	L2	◎	安全	可	B3	2	安全
アミカシン硫酸塩注射液	アミカシン	不可	L2	◎	安全	不可	D		安全
イスコチン錠	イソニアジド	可	L3	○	安全	可	A	1	安全
イトリゾールカプセル	イトラコナゾール	可	L3	○	安全	可	B3	2	不明
イナビル吸入粉末剤	ラニナミビル	可		◎	安全	可			不明
エプソール錠	エタンプトール	可	L3	◎	安全	可	A	1	安全
エリスロマイシン錠	エリスロマイシン	可	L3	◎	安全	可	A	1	安全
オーグメンチン配合錠	クラバン酸/アモキシシリン	可	L1	◎		可		1	
オセルタミビルカプセル	オセルタミビル	可	L2	◎	安全	可	B1	1	不明
クラリスロマイシン錠	クラリスロマイシン	可	L1	◎	安全	可	B3	1	不明
クリンダマイシン注射液	クリンダマイシン	可	L2	◎	安全	可	A	1	不明
クロマイ腫錠	クロラムフェニコール	不可	L4	△	不明	可	A		不明
ジスロマック錠／カプセル	アジスロマイシン	可	L2	◎	安全	可	B1	1	安全
ストロメクトール錠	イベルメクチン	可	L3	◎	安全	可	B3		不明

この表はマイツールの医薬品集からも開くことができます。

以前に発表しました「夜間休日頻用薬一覧」には、抗菌薬以外の当院採用薬の妊婦・授乳婦投与可否基準が掲載されていますので併せてご活用下さい。

また、これらの投与可否基準はweb版の当院採用薬一覧にも掲載する予定です。

<参考文献>

MMM: Medications and Mother's Milk

母く: 母乳とくすりハンドブック 改訂第3版

AUS: (妊娠時の投薬とリスクに関する) オーストラリア分類

妊薬: 妊娠と薬 第2版

妊授: 妊娠と授乳 改訂2版

ワーファリン拮抗薬「ケイセントラ静注用」の在庫を始めました

ワーファリンの拮抗作用をもつ血漿分画製剤『ケイセントラ静注用』（血液第Ⅱ・第Ⅶ・第Ⅸ・第Ⅹ因子を含む人プロトロンビン複合体）の在庫を始めました。

適応: 「急性の重篤出血」と「重大な出血が予想される緊急の手術または処置」

急変患者や救急搬入された患者などで、緊急の手術や侵襲的な処置が必要であるがPT-INRの延長があり重大な出血の恐れがある場合が想定されます

PT-INR高値の是正や出血予防は適応となりません。  
(必要に応じケイツーNの投与をご検討ください)。

用法・用量はPT-INR値と体重から以下ようになります。

PT-INR	添付文書上のケイセントラ投与量
2~<4	25IU/kg (最大 2500IU)
4~6	35IU/kg (最大 3500IU)
>6	50IU/kg (最大 5000IU)

薬価: 100,229円と高価です

当院に在庫するケイセントラ静注用は1500IUとしています。最大用量は1500IUでお願いします。

ケイセントラ静注用は500IUにつき専用の溶解液20mLと専用の溶解器を使用して下さい。  
投与速度は3IU/kg/分以下とし、体重が70kg以上の方でも210IU/分を超えないように注意して下さい。

※マイツール『DI 計算式』に投与量、投与時間を算出するページを準備しますのでご活用下さい

# DI 情報

## 【副作用報告】

協同：1件、川口：2件（DI委員会12月報告書より）

No	薬効分類	被疑薬	副作用症状	グレード	院所	評価
1	ヘリコバクター・ピロリ除菌治療剤	ボノサップパック 400	薬疹	2	協同	可能性あり
2	ビグアナイド系経口血糖降下剤	メトホルミン錠 250mg 「ニプロ」	発疹 搔痒感	2 1	川口	可能性あり
3	尿酸排泄剤	ベンズプロマロン錠 25mg 「アメル」	発疹	1	川口	可能性あり

## 【気になる事例の紹介～プレアボイド報告より～】

薬剤名	内容	処方の変更/今後のフォロー
ザルティア	ザルティア内服中。本日PCI施行。胸痛時にニトロペン処方あり。ザルティアとニトロペンは禁忌。中止、または他剤変更等可能か？	ザルティア中止 前立腺肥大症悪化注意
MRワクチン	MRワクチン投与しており、エンブレル・メトトレキサートは当面休薬の必要あり。 (TNF使用ガイドラインでは3～6ヶ月)	エンブレル、メトトレキサートは中止 再開時期確認

## 【採用薬変更のお知らせ】

(県連薬事委員会12月報告より)

新規採用・新規試用				採用削除		
変更理由	メーカ	薬品名	薬価	メーカ	薬品名	薬価
新規採用	ハルティス	アゾルガ配合懸濁性点眼液	405.6円/ml	塩野義	オキシコ ンチン錠	134.7円/5mg
	興和	グラナテック点眼液 0.4%	449.3円/ml			251.8円/10mg
	参天	タプコム配合点眼液	977.2円/ml			858.4円/40mg
	大塚	ミケルナ配合点眼液	700.4円/ml		6円	
後発医薬品への切り替え	第一三共	オキシコドン徐放錠 「第一三共」	98.2円/5mg 183.8円/10mg 605.1円/40mg	ハルティス	スローケー錠 600mg	6円
製造中止に伴う採用削除					ホウ酸	
使用実績なしの採用削除					ホルマリン (消毒薬)	
新規試用 (緊急時院内常備)	CSLベ ーリン グ	ケイセントラ静注用 500/1000	35004円/500 65225円/1000			
新規試用 (手術用院内のみ)	日新製 薬	プリビナ点眼液 0.5mg/mL	5.2円/mL			
新規試用	バイエル	ヤーズフレックス配 合錠	245.7円/錠			

情報の提供・お問い合わせは、埼玉協同病院薬剤科 DI室（内線9404）までどうぞ  
担当：清水・中村・玉水・木村・相良